

## 第11回東京女子医科大学神経懇話会

日 時 1994年1月20日(木) 17:00～19:00

場 所 第2臨床講堂

## 【一般演題】

(座長) 豊田智里

1. 大脳皮質第二体性感覚野の可塑性 (第二報) (第二生理学) 宮田麻理子・川上順子
2. 皮質下梗塞の多様性 (神経内科) 鄭 秀明・内山真一郎・丸山勝一
3. 神経筋疾患における体外式呼吸器の使用経験：  
その有用性と問題点 (小児科) 今野真紀・舟塚 真・塩田曜子・吉田 真・西村 敏  
池谷紀代子・勝盛 宏・斉藤加代子・大沢真木子・福山幸夫

(座長) 柴田亮行

4. 心大血管手術における脳梗塞発生の危険因子としての  
脳動脈狭窄に関する検討 (神経放射線科) 豊田昌子・寺田一志・小林直紀
5. 中枢神経系の悪性リンパ腫の臨床病理像 (脳神経外科) 久保長生・田鹿安彦・遠山 隆・高倉公朋
6. 非アルツハイマー型痴呆脳における嗜銀性異常構造物 (第一生理学) 小森隆司・柴田亮行・小林楨雄

## 【特別講演】

(座長) 小林楨雄

JC ウイルス疾患—脱髄から脳腫瘍— (北海道大学医学部第二病理学教室教授) 長嶋和郎

1. 大脳皮質第二体性感覚野の可塑性 (第一—第二  
感覚野線維結合の役割)

(第二生理学) 宮田麻理子・川上順子

第二体性感覚野 (SII) の破壊実験で触覚学習に障害を来すことから、触覚学習、記憶に重要な働きを果たすことが示唆されている。我々はネコの視床後外側腹核 (VPL) に高頻度刺激を与えると、その後 VPL の単発刺激による SII での誘発電位の振幅が長期にわたり増強する (long-term potentiation, LTP) ことを見出した。LTP は、学習記憶のモデルとして海馬で広く研究されている現象である。SII への入力は、VPL から直接の投射経路 (視床皮質路) と、VPL から第一体性感覚野 (SI) を介する投射経路 (皮質間結合) の 2 種があり、SI に高頻度刺激を与えると VPL の単発刺激に対し SII で LTP が形成された。また、皮質間結合を SI にリドカインを局所注入することにより遮断すると、SII での LTP 形成が抑制された。我々の結果は、SI からの皮質間結合が SII の可塑的变化に重要な役割を果たしていることを示唆している。

## 2. 皮質下梗塞の多様性

(神経内科)

鄭 秀明・内山真一郎・丸山勝一

脳梗塞症のなかで白質や基底核に病変の主座を有するものに対して、欧米では皮質下梗塞、本邦では穿通枝系梗塞との名称が使われ、あたかも均一な病態のようにされてきた。しかしそれらはその原因が多様であり、いわゆる lacunar infarction ばかりでなく、心原性塞栓や頸動脈病変が原因となることがある。画像解析においては病巣の大きさや病巣の部位の把握が重要であり、前者の例として striatocapsular infarction を、後者の例として centrum ovale infarction を自験例を含めて紹介した。また“lacunar”は現在、病理学的、症候学的、放射線学的、病因論的の 4 種類の意味にそれぞれの臨床家がまちまちに使用しており、臨床的混乱を避けるため、共通の概念・定義の確立が必要であることを述べた。

## 3. 神経筋疾患における体外式陰圧呼吸器の使用経験：その有用性と問題点

(小児科) 今野真紀・舟塚 真・塩田曜子

吉田 真・大沢真木子・福山幸夫